PosiSoft

取扱説明書

（密着力試験器ポジテストAT）

2.12版

Ｈ　Ｂ　Ｓ

株式会社　本田ビジネスシステムズ

〒221-0843　**横浜市神奈川区松ヶ丘**35-12　**松ヶ丘ビル４**F

電話：045-212-4090　　**ファクス：**045-412-6773

電子メール：support@hbsl.co.jp

平成 19 **年** 2 **月** 21 **日改定**

＜目次＞

はじめに---------- **1**

はじめてみましょう---------- **1**

計器のコンピュータ接続及びシリアルポートとの接続---------- **2**

バッチ名とアプリケーション名の変更---------- **4**

読み取りデータ／バッチの削除---------- **4**

注釈入力---------- **4**

他ソフトウェアへの読み取りデータ出力---------- **5**

印刷---------- **7**

PosiSoft　メニュー---------- **9**

はじめに

ＰｏｓｉＳｏｆｔはポジテクタ6000、200、超音波厚さ計（UTG）、露点計,密着力試験器を使用して得られる測定値をダウンロード及び解析するためのツールです。測定値をPosiSoftにダウンロードすると、解析のためのファイルに格納され、ヒストグラム、データチャート・グラフ、および統計情報を作成します。本マニュアルは密着力試験器ポジテストATに関連した機能に限定して記載しています。

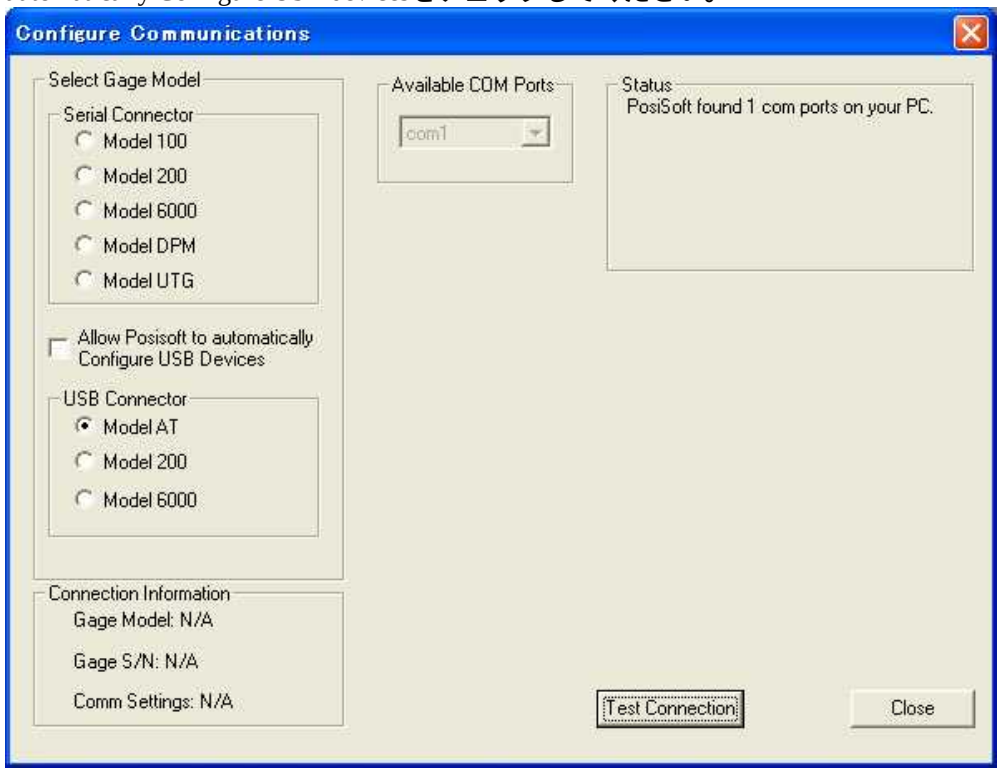
さあ、はじめてみましょう

PosiSoftを使用するためには､次のステップに従ってください。

・PosiSoftを実行します。
･添付のケーブルでコンピュータに接続します。
･Configure（構成）プルダウンメニューのGage（ゲージ）オプションから接続ポートを選択します。
・計器のスイッチをオンし､計器との通信を始めます。
・Batch（バッチ）プルダウンメニューからDownload（ダウンロード）を選択します。
・　読みとり終了後、File（ファイル）プルダウンからSave（保存）を選択します。

計器とコンピュータとの接続

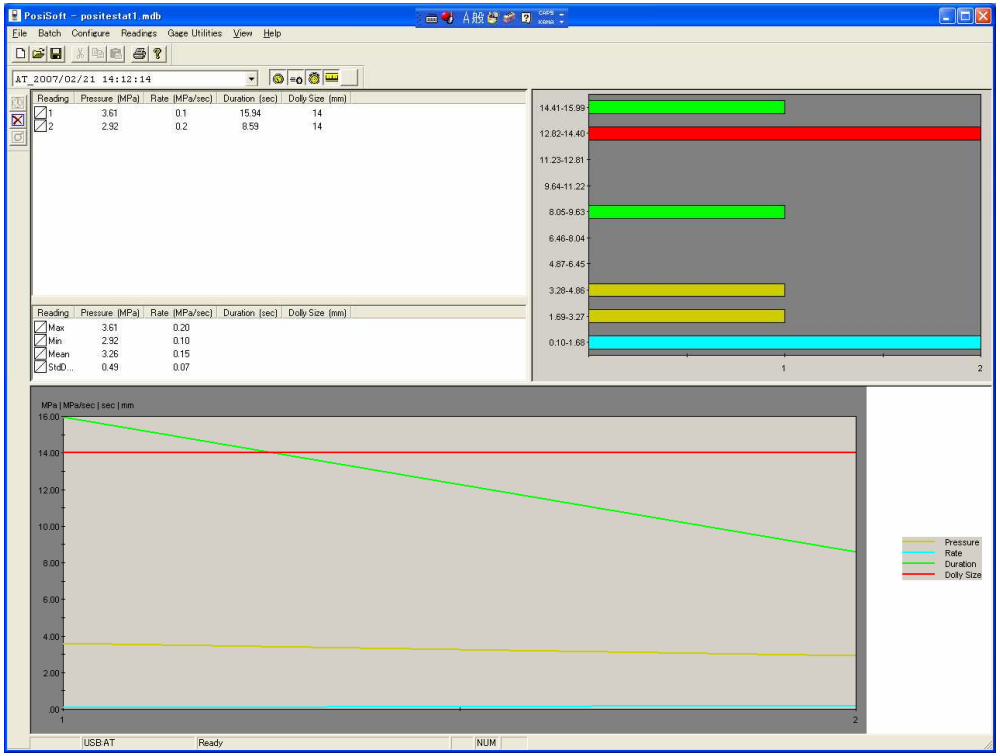
ポジテストAT（引張式密着力試験機）は附属のUSBケーブルを使用して、USBポートを介してコンピュータを通信を行います。Configure(構成)メニューからCommunications(通信)を選択し、PosiTest ATを選択し、次に接続確認のため、Test Connection ボタンをクリックしてください。通信が行われると、Connection Information(接続情報)欄にポジテストATのシリアル番号が表示されます。
注）次回接続時、自動的にポジソフトの構成を行うには、Allow PosiSoft to automatically Configure USB devicesをチェックしてください。



計器とコンピュータとの接続設定画面

バッチのダウンロード：

Batch（バッチ）メニューから、Download（ダウンロード）を選択します。
適切な計器モデルを選び、指示に従ってください。



バッチダウンロード後の画面

バッチ、ユーザ、部材、アプリケーション名の変更：

PosiSoftに関するユニークな名前をバッチに割り当てることができます。そうすることにより、カスタマイズされた概要をみることができます。同様に、Application Name（アプリケーション名）、ユーザ名、および部材名も割り当てることができます。

Batch(バッチ)メニューでAnnotate(注釈)を選択することによって、Batch Annotation(バッチ注釈)ウィンドウがポップアップします。バッチ名を変えるには、単にBatch Info(バッチ情報)タブのName (名前)ボックスに名前を設定するだけです。また、Batch Annotation（バッチ注釈）ウィンドウで、適当なタブを選択することによって、User Info（ユーザ情報）、Material（部材情報）、およびAnnotations（注釈）を定義、修正、変更することができます。Gage info（計器情報）タブは計器モデルなどの計器情報を表示します。

-読取データ/バッチの削除

個々の測定値：

個々の測定値を削除するために、測定値上でマウスボタンを右クリックし、delete（削除）を選択します。
統計情報は、これを反映して、自動的に更新されます。

測定値の全バッチ：

全バッチを削除するために、メインメニューからBatch（バッチ）を選択し、delete（削除）を選択します。
次に、削除したいバッチまたは一連のバッチを選択し、delete（削除）をクリックします。

注釈の入力

Batch（バッチ）メニューで、Annotate（注釈）を選択、それからバッチ名を変更し、次に進みます。
選択したバッチの注釈を見るには、Annotation（注釈）タブをクリックします。

他ソフトウェア（Xcel,Wordなど）への読取データ出力

Ｂａｔｃｈ（バッチ）メニューの使用：

個々あるいは一斉にバッチ情報を他のソフトウェアプログラムファイルに出力することができます。バッチを出力するには、PosiSoft Batchメニューで Export（エクスポート）を選択します。

表示されるウィンドウで、出力したいBatch（バッチ）をハイライトさせます。出力されるReadings(測定値)、Summary(まとめ) 、Annotation(注釈)あるいはすべての情報のボックスを選択します。測定データを分離するためにExport Separator(エクスポート セパレータ)ボックスに文字を入れることができます。

デフォルトのセパレータは、カンマ（，）です。ヨーロッパのnumber format(数字形式)を使用する場合、小数点を表すカンマと混同しないよう他のセパレータを選択することをおすすめします。

Export(エクスポート)を押下すると、Save As(保存)がポップアップします。インポートされるソフトウェアに関係した拡張子をファイル名とともにタイプします。（例えば、テキストファイルには***.txt、WORDには***.doc , Excelのようなスプレッドシートアプリケーションに対しては***.xls）

キーボード、マウスの使用：

他ソフトウェアへ出力するデータに対しての代替方法は、Shift(シフト)+矢印キー（または、マウス）でデータをハイライトさせ、次に選択するソフトウェアへコピー、貼付けを行います（マウス右クリックでの貼付）。

マウスとクリップボードを使用することによって、PosiSoftに表示されるチャートを他のソフトウェアにコピーすることができます。

AT_2006/12/20 11:34:50
Batch Readings

Reading	Pressure (MPa)	Rate (MPa/sec)	Duration (sec)	Dolly Size (mm)
1	15.84	0	209.68	14
2	15.51	0	142.68	14
3	13.73	0	132.68	14
4	14.38	0	132.85	14
5	16.51	0	177.87	14
6	15.69	0.1	138.63	14

Batch Summary

Max	16.51	0.1
Min	13.73	0
Mean	15.28	0.02
StdDev.	1.03	0.04

Batch Annotations
Gage Model: AT
Gage S/N: 12345
Probe Model: AT
Probe S/N: 12345
User:
Part:
Substrate:

CSVファイル形式のファイルに出力した例

印刷
。
印刷を始めるには、「Standard Toolbar**（標準ツールバー）」で印刷アイコンをクリックするか、**File**メニューで、**Print**（印刷）を選択します。**
プリンタのセットアップウィンドウがポップアップしたら、プリンタ、印刷方法を選択します。

印刷の選択:
Print Selection(**印刷の選択**)**ダイアログの**Select Batch**（選択バッチ）ボックス上で、印刷したい**1 **バッチまたは複数のバッチを選択します。**

印刷したいバッチを単に、ハイライトさせることによって、それらを選択することができます

Print Items(**印字項目**)**リストで、印刷するバッチの情報を選びます。**
- Readings**（測定値**)
- Summary(**まとめ**)
- Annotations(**注釈**)
- Chart(**チャート**)
- Histgram(**ヒストグラム**)

Page Layout Options(**ページレイアウトオプション**):
Page Layout Options(**ページレイアウトオプション**)**ボックスをクリックします。**
このウィンドウでは、ドキュメントのヘッダーとフッターを設定することができます。

それらを設定するには、挿入したい位置のボックスにヘッダーとフッター名を設定します。
印字する各バッチに対して、ヘッダーとフッターを変更させることも可能です。

例えば、次のようにセットアップした場合：
1. **ページの先頭の左欄にヘッダーとして、日付**
2. **ページ下部の中央にページ番号**
3. **多重カラム（複数の測定データ）**
4. **異なるページにチャートとヒストグラム(印字のスペースが大きくなる)**

上で説明されたように印刷するためには､以下のようにセットアップします。

1．Header left(**ヘッダーの左欄**)**に**%D**を設定**
2．Footer Center(**フッター中央欄**)**に**%d**を設定**
3. Multi column output**のタイトルのボックスを選択**
4．Chart and Histogram on same page**オプションのチェックをはずします。**

Printer Setup(**プリンタセットアップ**):
プリンタ、紙サイズ、および位置を選択します。

Print Preview(**印刷プレビュー**)：
印刷されるページのプレビューを表示します。

印字品質:
チャートとグラフの印字に問題がある場合、、次のステップ（Windows95,98**を使用している場合）で、チャートとグラフの印字品質を改善できます。**

･マウスで、Start**（スタート）アイコンをクリックします**
･Settings**（設定）メニューを選択します**
･Printers**（プリンター）メニューをクリックします**
･使用したいプリンタファイルのハイライト及びオープンします
- Printer**（プリンタ）プルダウンメニューで、**Properties**（プロパティ）を選択します**

- Graphics**（グラフィック）ファイルをクリックします**
- Use raster graphics**（ユーザ ラスター グラフィック）を選択、次に**Apply**（適用）クリック､さらに「**OK**」をクリックします**

･「Printer**」と「**Printers**」ファイルのクローズします**

PosiSoftの各メニュー
メニューは以下のとおりです。

File（ファイル） メニュー
Batch（バッチ） メニュー
Configure（構成） メニュー
Readings（測定） メニュー
Gage Utility（ゲージユーティリティ）メニュー
View（表示）メニュー

File（ファイル） メニュー
New（新規作成）
新しい無題のファイルを作成します。

Open（開く）
既存のファイルを開きます。 MDB**拡張子ファイルのみ、表示されます。**

Save（保存）
ファイルにアクティブなデータを保存します。データファイルは、指定されない場合、MDB**拡張子で保存されます。**

Save As（名前をつけて保存）
拡張子が指定されない場合、.MDB**拡張子で、アクティブなデータを保存します。**

Print（印刷）
プリンタの選択、あるいは構成のために、Windows Print Setup**を動作させます。**
Exit（終了）
プログラムを終了します。
Batch（バッチ） メニュー
Download（ダウンロード）
計器のメモリから測定データをダウンロードします。計器が接続状態の場合、
PosiSoft**は計器のバッチデータをダウンロードします。**

Annotate（注釈）
バッチ名、アプリケーション名、Hi/Ｌｏ limits（上下限）なを変更します。
Annotations(**注釈**)**と同様に**Batch(**バッチ**)**と**Application Names(**アプリケーション名**)**の変更も参照してください。**
Ｓｅｌｅｃｔ Current(**現在の選択**)
バッチの切り換えができます。現在のバッチは、PosiSoft**ツールバーに表示されています。**

Export(**エクスポート**)
現在のファイルをWindow **クリップボード、または、ユーザの指定されたファイルに出力します。**
Export Readings(**読取データの出力**)**を参照してください。**

Delete（削除）
Delete Batches（バッチの削除）ウィンドウで選択されたバッチを削除します。
Configure（構成） メニュー
Communications（通信）
接続ポートを設定するために構成ウィンドウを開きます。Test Com Port(**テストＣＯＭポート**)**をクリックすることによって、選択されたポートをテストすることができます。**
テスト機能を使用するとき、計器が動作状態にあることを確認してください。
計器とコンピュータとの接続を参照してください。

Units(**単位**)
単位をpsi **から** MPa**に切替えます。あるいは**MPa**から**psi **に切替えます。**

Chart Options(**チャートオプション**)
PosiSoft**の下部ウィンドウに表示されたチャートは、収集されたデータを表示する３種類のレイアウトがあります。それぞれの測定データはＹ軸に、測定データ数はＸ軸に表示されます。**

・折れ線グラフ：各測定データは点によって示されます。点は、接続されているので、容易に傾向を見つけることができます。

・棒グラフ：このモードでは、測定データはバーで表示されます。
・積み重ね表示棒グラフ：各項目ｶﾞ積み重ねられます。

Histogram Configuration(ヒストグラム構成)
Histogram Configuration)(ヒストグラム構成)メニューを選択すると、ヒストグラムの測定データ表示方法を変更させるダイアログが表示します。
最初に、ヒストグラムは、測定データ値とその相違に応じて、ｂｉｎｓ（バー）の数を計算します。ヒストグラムで表したいバーの数を入力することによって、異なったバー数をもつことを選択できます。変更をアクティブにするためには、Force all histograms to use this many bins
チェックボックスをチェックする必要があります。それを行った後、PosiSoftは設定したバー数を有効とします。

Number Formats（ナンバー フォーマット）
数値の形式を変更します。

Date Formats（日付フォーマット）
テーブルのDate / Time欄のフォーマットをカスマイズする際に使用します。

Language（言語）
PosiSoftメニューオプションを必要な言語に変えます。

Readings（測定） メニュー

このオプションにより、より詳細なテスト結果解析を行なうための情報をリアルタイムで収集することができます。取得した情報は、印刷あるいはエクセルや他のプログラムで使用できるファイル形式で格納することができます。

Listen to Gageを選択すると以下のポップアップ画面が表示されます。

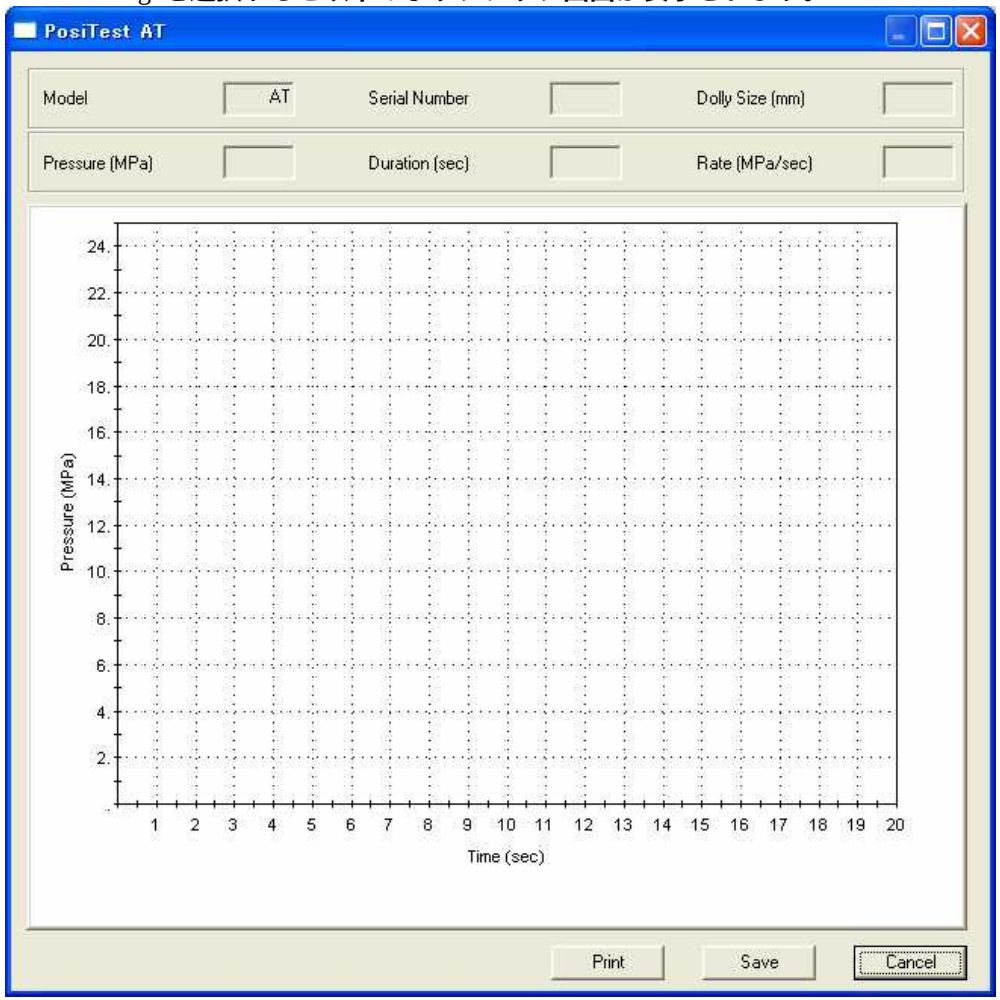


図　Listen to Gageウィンドウのスクリーン

印刷するには"Print" ボタンを選択してください。"Print" ボタンを選択しますと図のプレビューが表示されます。

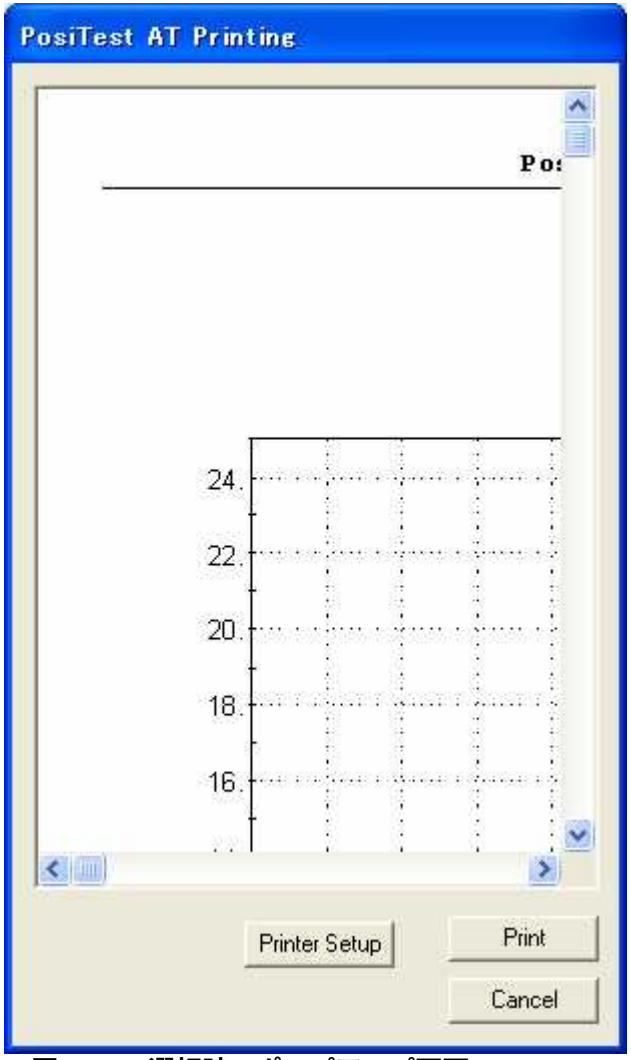


図　print 選択時のポップアップ画面

データを格納するには"Save" ボタンを選択し、ファイル名を入力後、"Save"をクリックしてください。拡張子を指定しないとテキストファイル（*.txt ）で格納されます。

Listen to Gageウィンドウのスクリーンキャプチャーは キーボードの"Alt" & "Print Screen"を同時に押下することにより、実施できます。

Gage Utility（ゲージユーティリティ）メニュー

Screen Capture(スクリーンキャプチャー)
この機能は、計器の液晶ディスプレー画面表示をコンピュータのクリップボードにキャプチャーします。表示内容がクリップボード上にいったん取得されると、Microsoft Word、Excelなどのような他のソフトウェアに対して、切り取り、コピー、貼り付けができます。例えば、レポートと印刷として。Utilities(ユーティリティ)プルダウンメニューで、Screen Capture(スクリーンキャプチャー)を選択します。指示に従って、計器の液晶ディスプレー画面表示をダウンロードします。

Set Clock(時計設定)
Set Clock(時計設定)を使用して、計器の時計にコンピュータ上の現在の時間を設定します。

User Gage(ユーザ計器)
6000User Gage（ユーザ計器）へユーザ係数を表示、ダウンロードするためにこの機能を使用します(この機能は6000/U Gageのみです)。詳しい情報に対しては、代理店に連絡してください)。

View（表示）メニュー
ウィンドウの標準メニュー。このメニューでPosiSoftの表示をカスタマイズできます。
Standard Toolbar(標準のツールバー)
Standard Toolbar(標準のツールバー)を有効にするか、または無効にします。

PosiSoft Toolbar(PosiSoftツールバー)
画面に表示されるPosiSoft Toolbarを有効、または無効にします。有効にすると、現在のバッチとそのバッチに関係した被膜の層数が表示されます。

Reading Toolbar(測定のツールバー）

画面に表示されるReading Toolbar（測定のツールバー）を有効、または無効にします。
有効にすると、Show Time（時間表示）, Show Deleted（削除表示）, Show StandardDeviation toggle（標準偏差トグル）ボタンが表示されます。

Histogram（ヒストグラム）
ヒストグラムの表示有無を示します。

Status Bar（ステータスバー）
PosiSoftの設定と現在の状態を表示します。ステータスバーはPosiSoftの下部にあります。
接続ポート、どんな単位が使用されているかに関するユーザ情報などがあります。